

獣医学研究科学位論文審査基準

【獣医学専攻博士課程】

1. 評価項目

学位申請論文の審査には、審査委員会委員が次の6項目について別表の評価基準に基づいて評価する。

- (1) テーマのたて方：独創的、具体的で明確なテーマが設定されていて、それについての適切な仮説や調査項目が分かりやすく整理されて示されていること。
- (2) 研究の背景：信頼できる複数の情報源から、これまで明らかになった知見や課題を整理し、自分が明らかにしようとしている研究目的に関連付けて活用していること。
- (3) 研究の方法：複数の研究方法や分析の視点から、目的とテーマにふさわしいいくつかの研究方法を用い、明確な分析の視点を示していること。
- (4) 研究の結果：実験データや調査などについて整理と解析が十分になされ、焦点に沿って研究した内容を組織的にまとめ、類似点・相違点・重要な型（パターン化）の発見など様々な視点から検討していること。
- (5) 考査と結果：研究から明らかになったことについて整理し、専門基礎知識（自分の専門分野の概念や枠組み）を効果的に用いて、独自の考査を展開し、論理的に説明できていること。
- (6) 参考論文：適切に引用していること。

2. 評価方法及び判定

- (1) 各審査委員が、別表の評価基準に基づいて各評価項目を5点、3点、1点で評価する。
- (2) 論文提出による博士の学位では、全ての審査委員が、15点以上（30点満点）をつけたことをもって、予備審査終了とし、研究科委員会で論文審査（本審査）の承認を行う。本審査では、全ての審査委員が20点以上（30点満点）をつけたことをもって、本審査を終了とし研究科委員会に報告する。

3. 審査における必須要件及び最終判定

次の2つの要件を満たし、当該分野に関する十分に広範な知識を有し、自立して研究を行う能力と研究成果を外部に発表（国際学会等）できる能力を備えているかどうかの評価を行い、研究科委員会において博士の学位授与の最終的な合否判定を決定する。

- (1) 研究成果の全部又は一部を、筆頭著者として英文の学術原著論文に既に公表していること。
- (2) 学位論文発表会で、口頭での発表と質疑応答が論理的かつ明確に行われ、審査委員を納得させたこと。

【獣医保健看護学専攻修士課程】

1. 評価項目

学位申請論文の審査には、審査委員会委員が次の5項目について別表の評価基準に基づいて評価する。

- (1) テーマのたて方：実現可能なテーマが設定されており、それについての適切な仮説や調査項目が示されていること。
- (2) 研究の背景：複数の情報源から、これまでに明らかになった知見を示し、整理し、自分が明らかにしようとしている研究目的に関連付けていること。
- (3) 研究の方法：目的とテーマに沿った研究方法を用い、分析の視点を示していること。
- (4) 研究の結果：研究で得られた情報をまとめ、類似点・相違点・パターンなど何らかの法則性を検討していること。
- (5) 考察と結論：研究から明らかになったことについて記述し、専門的基礎知識を用いて論理的に説明できていること。
- (6) 参考論文：適切に引用していること。

2. 評価方法及び判定

- (1) 各審査委員が、別表の評価基準に基づいて各評価項目を5点、3点、1点で評価する。
- (2) 論文審査では、全ての審査委員が、20点以上（30点満点）をつけたことをもって、本審査を終了とし研究科委員会に報告する。

3. 審査における要件及び最終判定

次の2つの要件を考慮し、当該分野に関する専門的知識と実践的能力を身に付け、問題把握・解決能力を備えているかどうかの評価を行い、研究科委員会において修士の学位授与の最終的な合否判定を決定する。

- (1) 学位論文発表会で、口頭での発表と質疑応答が論理的にわかりやすく行われたこと（必須）。
- (2) 研究成果の全部または一部を、関連する学会等（特許も含む。）で発表していること（必須）。

附 則

この基準は、2016（平成28）年4月1日から施行する。

【別表】

学位論文評価基準（獣医学専攻博士課程）

点数・評価項目	5	3	1
テーマのたて方	独創的で、明確なテーマが設定されており、それについての適切な仮説や調査項目が分かりやすく整理されて示されている。	実現可能なテーマが設定されており、それについての適切な仮説や調査項目が示されている。	実現可能なテーマが設定されているが、仮説や調査項目が分かりにくい。
研究の背景	信頼できるさまざまな情報源から、これまでに明らかにされた先行研究の知見や課題を整理し、自分が明らかにしようとしている内容に関連付けて活用している。	複数の情報源から、これまでに明らかにされた先行研究の知見を示し、整理しているが、自分の研究のテーマとの関連性を十分に示していない。	限られた情報源から、これまでに明らかにされた先行研究の知見を、何かしら紹介しているが、自分の研究テーマとの関係が乏しい。
研究の方法	研究のテーマにふさわしい複数の研究方法を用い、明確な分析の視点を示している。研究内容を深化させる分析手段が示されている。	研究の目的とテーマに沿った研究方法を用い、分析の視点を示している。画一的な分析手段となっている。	研究の目的とテーマに沿った分析の視点が十分に示されておらず、簡単な分析手法しか示されていない。
研究の結果	焦点に沿って実験や調査で得られた実験データを図や表を有効利用して組織的にまとめ、類似点・相違点・重要な型（パターン化）の発見など様々な視点から解析している。	実験や調査で得られたデータを図や表を利用してまとめ、類似点・相違点・パターン化など何らかの法則性を示している。	実験や調査で得られたデータを列挙しているのみであり、関連付けてまとめることができていない。
考査と結論	研究から明らかになったことについて整理し、専門基礎知識（自分の専門分野の概念や枠組み）を効果的に用いて、独自の考察を展開し、仮説との整合性など、論理的に説明できている。	研究から明らかになったことについて記述し、専門基礎知識をある程度用いて説明できているが、独自の考察がやや不十分である。	研究から明らかになったことについての記述はできているが、独自の考察が十分にできておらず、論理的な整理がついていない。
参考文献	研究内容との関連性や研究着手の経緯、研究方法、考察の展開において、適切な参考図書や参考文献が必要な数だけ引用されている。	研究の背景における先行研究や研究方法における適切な参考図書や参考文献が必要な数だけ引用されているが考察の展開において、十分には引用されていない。	適切な参考文献が十分には引用されていない。

学位論文評価基準（獣医保健看護学専攻修士課程）

点数・評価項目	5	3	1
テーマのたて方	明確で、実現可能なテーマが設定されていて、それについての適切な仮説や調査項目がわかりやすく示されている。	実現可能なテーマが設定されており、一般的かつ適切な仮説や調査項目が示されている。	曖昧なテーマが設定されており、仮説や調査項目が分かりにくい。
研究の背景	複数の情報源から、これまでに明らかにされた先行研究の知見を整理して示し、自分が明らかにしようとしている内容と関連付けている。	複数の情報源から、これまでに明らかにされた先行研究の知見を整理して示している。	限られた情報源から、これまでに明らかにされた先行研究の知見を列挙して示している。
研究の方法	研究の目的とテーマにふさわしい複数の研究方法を用い、明確な分析の視点を示している。	研究の目的とテーマに沿った研究方法を用い、分析の視点を示している。	研究の目的とテーマに関連した研究方法を用いているが、分析の視点が明確になっていない。
研究の結果	実験や調査で得られたデータを図や表を有効利用して組織的にまとめ、類似点・相違点・重要な型（パターン化）の発見など様々な観点から解析している。	実験や調査で得られたデータを図や表を利用してまとめ、類似点・相違点・パターン化など何らかの法則性を示そうとしている。	実験や調査で得られたデータを列挙しているのみであり、類似点・相違点・パターン化など何らかの法則性を検討することが十分になされていない。
考査と結論	研究から明らかになったことについて整理し、専門基礎知識を効果的に用いて、論理的に説明できている。	研究から明らかになったことについて記述し、専門知識をある程度用いて論理的に説明できている。	研究から明らかになったことについての記述はできているが、専門基礎知識を用いて、論理的に説明ができていない。
参考文献	研究内容との関連性や研究着手の経緯、研究方法、考察の展開において、適切な参考図書や参考文献が必要な数だけ引用されている。	研究の背景における先行研究や研究方法における適切な参考図書や参考文献が必要な数だけ引用されているが、考察の展開において、十分には引用されていない。	適切な参考文献が十分には引用されていない。

課程修了認定のための博士（獣医学）の学位論文に関する取扱要領

（趣 旨）

第1条 酪農学園大学大学院獣医学研究科（以下「本研究科」という。）の課程修了認定のための学位論文の取扱いについては、酪農学園大学大学院学則（以下「学則」という。）及び酪農学園大学学位規程（以下「学位規程」という。）に定めるもののほか、この要領による。

（学位論文の提出資格）

第2条 学則第24条第1項により修了を認定される者。

2 学則第24条第4項により修了を認定される者。なお、学則第24条第4項に規定する優れた研究業績とは、在籍中に筆頭著者として掲載を許可された全ての論文（学位論文に関係しない論文も含む）の掲載誌のインパクトファクター（最新の SCI Journal Citation Reports による）の総計が4以上のものとする。

（学位論文の提出期日）

第3条 前条第1項により4年次末までに学位の授与を受けようとする者は、それより3か月前までに指導教員を通じて、学位論文審査に要する提出物を本研究科長に提出しなければならない。

2 前条第2項により3年次末または4年次前期末までに学位の授与を受けようとする者は、それより5か月前までに所定の書類（様式1～3）に優れた研究業績を添え、指導教員を通じて本研究科長に申請し、認められた場合は学位授与日より3か月前までに指導教員を通じて、学位論文審査に要する提出物を本研究科長に提出しなければならない。

（学位論文審査に要する提出物）

第4条 学位論文審査に要する提出物は以下のとおりとする。なお、提出物については(1)～(5)は紙媒体1部及び電子データ、(6)は紙媒体で学位論文に関するもの全てとする。

- (1) 学位論文審査申請書
- (2) 学位論文
- (3) 学位論文要旨
- (4) 論文目録
- (5) 参考論文

レフェリー制度のある学術雑誌に公表済みあるいは掲載を許可されたもので、申請者が筆頭著者の原著論文（英文）1篇以上（短報では2篇以上）とする。申請者が筆頭著者でない論文の内容を学位論文に使用する場合には、共同研究者の承諾書（様式4-1あるいは様式4-2）を添付するものとする。

- (6) 研究ノート

2 研究不正を防止し、論文の根拠となる成績を記録するための研究ノートの取扱いについては別に定める。

（学位論文及び資料）

第5条 学位論文は単著とし、1篇に限る。ただし、参考として他の論文を添付することができる。

- 2 審査のため必要があるときは、学位論文の訳文、模型又は標本等の資料を提出させることがある。
- 3 複数の筆頭著者による論文を学位申請論文の主論文とする場合の条件については別に定める。

（審査委員）

第6条 本研究科委員会は、学位規程第7条第1項及び第2項に定めるもののうちから主査1名及び副査2名以上の審査委員を選定する。

（学位論文の審査及び試験）

第7条 審査委員は、学位論文を審査し、必要に応じて合同または単独で論文提出者に学位論文について質疑を行う。

2 審査委員は、論文提出者に対して学位論文を中心としてこれに関連のある授業科目について試験を行う。

（審査委員の報告）

第8条 審査委員は、学位論文の審査及び試験を終了したときは、その結果を次の書類により本研究科委員会に報告しなければならない。

- (1) 学位論文の審査及び最終試験の結果について
- (2) 学位論文審査及び最終試験結果報告書

（研究科委員会の審議）

第9条 本研究科委員会は、審査委員の報告に基づいて審議し、学位論文の審査及び試験の可否を議決する。

（改 廃）

第10条 この要領の改廃は、本研究科委員会の議を経て、酪農学園大学大学院委員会で行う。

附 則

- 1 この要領は、1990（平成2）年4月1日から制定施行する。
- 2 1989（平成元）年度以前の入学者については、第2条を除きこの要領を適用する。

附 則

この要領は、1993（平成5）年9月16日から施行する。

附 則

- 1 この要領は、1994（平成6）年4月1日から施行する。
- 2 1993（平成5）年度以前の入学者については、第4条の（5）は、なお従前の要領を適用する。

附 則

この要領は、2001（平成13）年12月21日から施行し、2001（平成13）年12月1日から適用する。

附 則

この要領は、2007（平成19）年2月22日から施行し、2007年（平成19）年1月22日から適用する。

附 則

- 1 この要領は、2010（平成22）年4月1日から施行する。
- 2 2009（平成21）年以前の入学者については、なお従前の要領を適用する。

附 則

この要領は、2013（平成25）年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、2015（平成27）年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この要領は、2017（平成29）年4月1日から施行する。
- 2 第4条第6号については2015（平成27）年度以降の入学生から適用する。

附 則

この要領は、2020年8月25日から施行し、2020年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、2023年4月1日から施行する。

様式1

年 月 日

獣医学研究科博士課程 早期修了申請書

獣医学研究科長 殿

獣医学研究科
専攻 課程 年
学籍番号
氏 名 印
指導教員 印

酪農学園大学大学院学則第24条第4項に基づき、下記のとおり関係書類を添え、博士課程修了に係る早期修了を申請いたします。

記

1. 早期修了に関する推薦書
2. 研究実績調査書
3. 「優れた研究業績」に該当する論文

以上

様式2

早期修了に関する推薦書

年 月 日

獣医学研究科長 殿

指導教員 印

下記の者は、優れた研究業績を上げたため在学期間の短縮に該当する者と認め、ここに推薦します。

記

1. 被推薦者

- ① 所 属 専攻 課程
- ② 学籍番号
- ③ 氏 名
- ④ 入 学 年 月
- ⑤ 修了希望時期 年 月

2. 推薦理由(不足する場合は、別紙(様式3は任意)に記入すること。)

様式3

研究実績調査書

獣医学研究科
専攻 博士課程 年
学籍番号
氏 名

学術論文名、著書、学協会、討論会、国際会議等での研究発表題名及び号誌・発明等の名称	発表論文誌の名称、巻、頁、発表年(自前中または投稿中の場合は、その旨を記入してください。)	共著者又は共同発表者氏名(本人を含め上から発表順に記入してください。)
(その他特記すべき事項)		
上記のとおり相違ありません。 年 月 日 (申請者) 印 (指導教員) 印		

- 注 (1) 学術論文等は、別刷又はその写しを添付し、研究発表の場合は、要旨または概要を添付。
(2) この用紙に書き切れない場合は、同様の形式のものを付加してください。

様式4-1

年 月 日

承諾書

酪農学園大学大学院獣医学研究科長 殿

私は、 氏の学位申請に際して、下記論文が同氏の主要な参考論文として用いられることを承諾いたします。

なお、私は当該論文を自身の学位論文の申請には使用いたしません。

氏名: 印(署名)

所属:

1. 論文名:
著者名:
掲載雑誌名・巻・号・頁・発行年:
2. 論文名:
著者名:
掲載雑誌名・巻・号・頁・発行年:
3. 論文名:
著者名:
掲載雑誌名・巻・号・頁・発行年:

(注) 博士の学位をお持ちの方は、文中「なお、私は当該論文を自身の学位論文の申請には使用いたしません。」の文章は削除してください。

(注)の部分は、最終的に削除してください。

様式4-2

Letter of Agreement

Year: _____ month: _____ day: _____

To: Dean of Rakuno Gakuen University Graduate School of Veterinary Medicine

I agree that an applicant “ Mr./Ms. ○ ○ ○ ○ ” employs listed publication(s) as main-
publication for his/her Ph.D. degree application.

I also agree not to use the same paper(s) for any academic degree of my own.

Name (in PRINT): _____

Signature or SEAL: _____

Affiliation: _____

1. Title:
Author:
Name of Journal, Vol (No.), Pages, Year of Publication:

2. Title:
Author:
Name of Journal, Vol (No.), Pages, Year of Publication:

3. Title:
Author:
Name of Journal, Vol (No.), Pages, Year of Publication:

(Note: If the coauthor has already obtained his/her Doctoral degree, the statement, “I
also agree not to use the same paper for any academic degree of my own.” will be
treated as null.)

Please delete all examples and notes before using this form.

酪農学園大学大学院獣医学研究科博士課程修了認定に係る「複数の筆頭著者による論文」を学位申請論文の主論文とする場合の申合せ

酪農学園大学大学院課程修了認定のための博士（獣医学）の学位論文に関する取扱要領 第5条第3項に規定する「複数の筆頭著者による論文を学位申請論文の主論文とする場合の条件」は次のとおりとする。

1. 当該論文がPubMed 収録の学術雑誌に公表済みあるいは掲載を許可されたものであること。
2. 当該論文に equal contribution による研究である旨の明確な記載があること。
3. 当該論文の equally contributed author が2名以内であること。
4. 筆頭著者が複数名となるための必要性を説明した指導教員の理由書（様式1）があること。
5. もう一人の筆頭著者が、当該論文を学位申請論文の主論文として使用することについて合意していること（誓約書の提出）（様式2－1あるいは様式2－2）。
6. 当該論文は他の学位申請論文の主論文として使用しないこと。

附 則

この申合せは、2017（平成29）年4月1日より施行する。

様式 1

年 月 日

複数筆頭著者理由説明書

指導教員名：

印

学位申請者名：
研究分野名：
論文名：
著者名：
掲載雑誌名：
複数筆頭著者の論文を学位申請論文として提出する理由について、詳しく説明して下さい。 (各筆頭著者の担当部分も含めて記載願います。)

様式 2 - 1

誓 約 書

酪農学園大学大学院獣医学研究科長 殿

私は以下の論文の共著者であり、かつ **equally contributed author** ですが、この論文を _____ 氏が申請する学位のための主論文として使用することに同意いたします。

なお、本論文を自らの学位申請用主論文として使用しないことを誓います。

また、 _____ 氏が博士学位取得後に、博士学位論文をインターネット公開することを許諾します。

論文名：

著者名：

掲載雑誌名・巻・号・頁・発行年：

年 月 日

共著者名： _____ 印（署名）

所 属： _____

様式 2 - 2

Agreement Form and Pledge

Year: _____ month: _____ day: _____

To: Dean of Rakuno Gakuen University Graduate School of Veterinary Medicine

I am a co-author and an equally contributed author of the paper mentioned below, and I hereby agree that the paper mentioned below will be used as the primary thesis (dissertation) for Mr. / Ms. _____'s Ph.D. degree application.

I also pledge that I will not use the paper for my Ph.D. degree application.

Title of the paper:

Author:

Name of Journal, Vol (No.), Pages, Year of Publication:

Name of the co-author (in PRINT): _____

Signature or SEAL: _____

Affiliation: _____

課程修了認定のための修士(獣医保健看護学)の学位論文に関する取扱要領

(趣 旨)

第1条 酪農学園大学大学院獣医学研究科（以下「本研究科」という。）の課程修了認定のための学位論文の取扱いについては、酪農学園大学大学院学則（以下「学則」という。）及び酪農学園大学学位規程（以下「学位規程」という。）に定めるもののほか、この要領による。

(学位論文の提出資格)

第2条 学則第24条第1項により修了を認定される者

2 学則第24条第2項により修了を認定される者。なお、学則第24条第2項に規定する優れた研究業績とは、在籍中に筆頭著者として査読付きの学術論文に投稿し、アクセプトされた和文あるいは英文論文が1編以上とする。

(学位論文の提出期日)

第3条 前条第1項により2年次末までに学位の授与を受けようとする者は、それより3か月前までに指導教員を通じて、学位論文審査に要する提出物を本研究科長に提出しなければならない。

2 前条第2項により1年次末または2年次前期末までに学位の授与を受けようとする者は、それより5か月前までに所定の書類（様式1、2）に優れた研究業績を添え、指導教員を通じて本研究科長に申請し、認められた場合は学位授与日より3か月前までに指導教員を通じて、学位論文審査に要する提出物を本研究科長に提出しなければならない。

(学位論文審査に要する提出物)

第4条 学位論文審査に要する提出物は以下のとおりとする。なお、提出物については(1)～(4)は紙媒体1部及び電子データ、(5)は紙媒体で学位論文に関するもの全てとする。

(1) 学位論文審査申請書

(2) 学位論文

(3) 学位論文要旨

(4) 学会発表等（特許も含む）

研究成果の全部または一部を発表した関連学会等の講演要旨の写し。特許取得の場合はその証明書の写し。

(5) 研究ノート

2 研究不正を防止し、論文の根拠となる成績を記録するための研究ノートの取扱いについては別に定める。

(学位論文及び資料)

第5条 学位論文は単著とし、1篇に限る。ただし、参考として他の論文を添付することができる。

(審査委員)

第6条 本研究科委員会は、学位規程第7条第1項及び第2項に定めるもののうちから、指導教員を除く3名以上の審査委員を選定する。

(学位論文の審査及び試験)

第7条 審査委員は、学位論文を審査し、必要に応じて合同または単独で論文提出者に学位論文について質疑を行う。

(審査委員の報告)

第8条 審査委員は、学位論文の審査及び試験を終了したときは、その結果を次の書類により本研究科委員会に報告しなければならない。

(1) 学位論文の審査及び最終試験の結果について

(2) 学位論文審査及び最終試験結果報告書

(研究科委員会の審議)

第9条 本研究科委員会は、審査委員の報告に基づいて審議し、学位論文の審査及び試験の可否を議決する。

(改 廃)

第10条 この要領の改廃は、本研究科委員会の議を経て、酪農学園大学大学院委員会で行う。

附 則

この要領は、2015（平成27）年4月1日から制定施行する。

附 則

この要領は、2020年8月25日から施行し、2020年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、2023年4月1日から施行する。

様式 1

年 月 日

獣医学研究科修士課程 早期修了申請書

獣医学研究科長 殿

獣医学研究科 _____
専攻 課程 年 _____
学籍番号 _____
氏 名 _____ 印 _____
指導教員 _____ 印 _____

酪農学園大学大学院学則第 24 条第 2 項に基づき、下記のとおり関係書類を添え、
修士課程修了に係る早期修了を申請いたします。

記

1. 早期修了に関する推薦書
2. 「優れた研究業績」に該当する論文

以上

様式 2

早 期 修 了 に 関 す る 推 薦 書

年 月 日

獣医学研究科長 殿

指導教員 _____ 印 _____

下記の者は、優れた研究業績を上げたため在学期間の短縮に該当する者と認め、ここに推薦します。

記

1. 被推薦者

- ① 所 属 _____ 専攻 _____ 課程 _____
- ② 学籍番号 _____
- ③ 氏 名 _____
- ④ 入 学 _____ 年 ____ 月
- ⑤ 修了希望時期 _____ 年 ____ 月

2. 推薦理由(不足する場合は、別紙(様式は任意)に記入すること。)